

戦後 80 年フォーラム 平和を発信する沖縄写真巡回展 「否戦の心と人間愛の眼 阿波根昌鴻写真展」に向けて



日 時 2025 年 1 月 26 日 (日) 14 時～17 時 (開場 13 時 30 分) **〈入場無料〉**

会 場 沖縄県立博物館・美術館 (1 階・博物館講座室)

登壇者 石原 昌家 (沖縄国際大学名誉教授・財団法人わびあいの里監事)

石川 元平 (沖縄県教職員組合元委員長・財団法人わびあいの里元理事)

佐々木 末子 (昆布の土地闘争団人・第 4 次嘉手納基地爆音差し止め訴訟原告団)

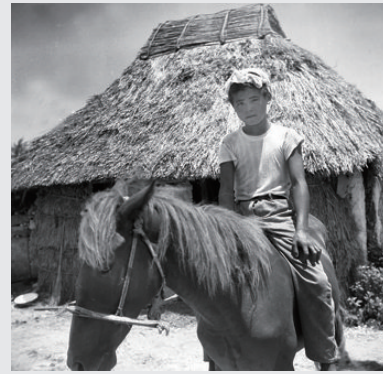
小屋敷 琢己 (琉球大学教授)

元山 仁士郎 (「辺野古」県民投票の会元代表・一橋大学大学院法学研究科博士後期課程)

進 行 比嘉 豊光 (写真家) 問合せ先 | しまくとぅばプロジェクト 090-8292-1398 (比嘉)



「沖縄のガンジー」と呼ばれ、平和運動家として知られる阿波根昌鴻（1901-2002）が1955年から1965年にかけて撮影した写真（約3600点）から約350点をセレクトし、作品展示を行います。阿波根は、戦後まもない米国占領下の伊江島で、米軍による土地の強制収用などに非暴力で抗い、島の窮状を訴える際の証拠と米軍の理不尽な仕打ちを告発するために、土地闘争の様子を克明に記録しました。また、同時期には島の自然や生活風景、島の人々の記念写真や家族写真などを撮影しており、否戦の心と人間愛の眼をもって島の記憶をカメラに収めました。阿波根昌鴻の写真は、「島の宝」であり日本、世界にも誇れる「芸術文化資源」です、今日の沖縄写真の原点とも言えるものです。本展覧会は、伊江島土地闘争と、島の自然風土と人々の肖像の2部で構成し、阿波根が希求した恒久平和の発信、沖縄県民の「否戦・平和を求める心」を多くの人々に賛同、連携してもらい、平和な社会の実現に向けた創造性の構築を目指します。



<関連展示会>

- ① 島の人々 戦後伊江島・阿波根昌鴻写真展（2022/2・伊江村はにくすホール）
- ② 島の宝・島の人々 伊江島の戦後・阿波根昌鴻写真展（2022/11・浦添市美術館）
- ③ 島の宝・島の人々 伊江島の戦後・阿波根昌鴻写真展（2023/7・もとぶ文化センター）
- ④ 阿波根昌鴻 写真と抵抗 そして島の人々（2024/2～5・原爆の図丸木美術館）
- ⑤ 阿波根昌鴻 写真と抵抗 そして島の人々（2024/11～12・立命館国際平和ミュージアム）
- ⑥ 阿波根昌鴻 人間の住んでいる島（2024/11/12・東京工芸大写大ギャラリー）

